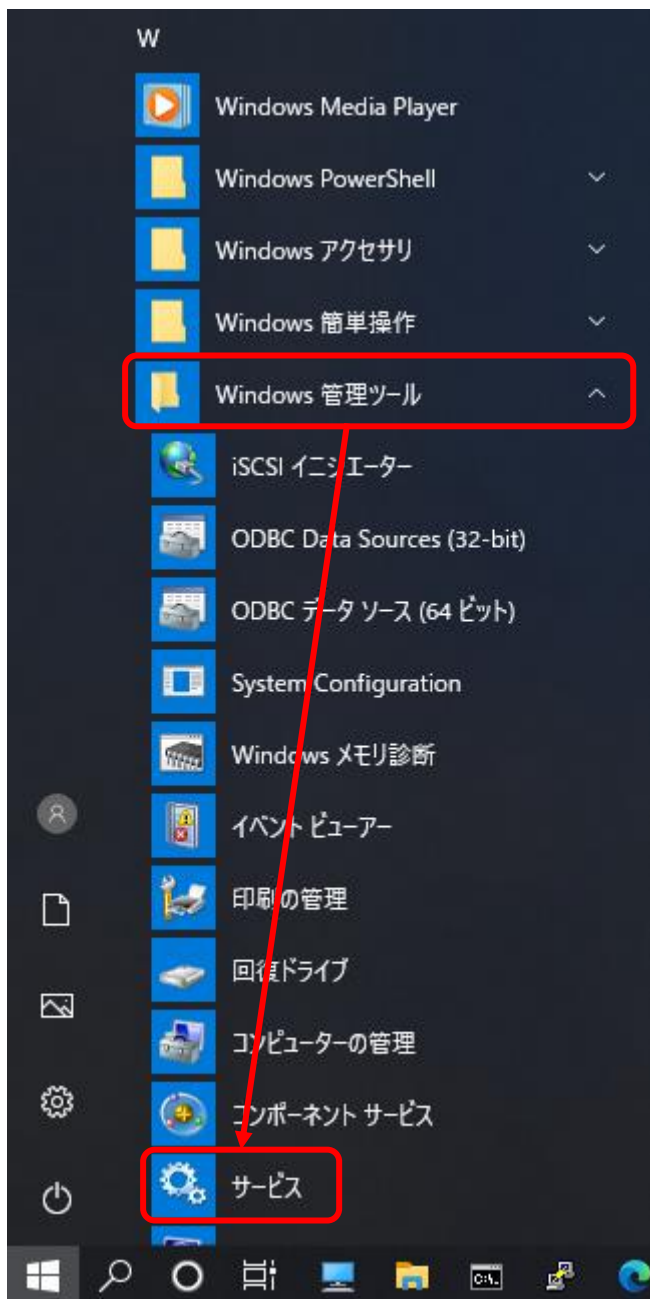


# 認証ゲートウェイ利用手順書

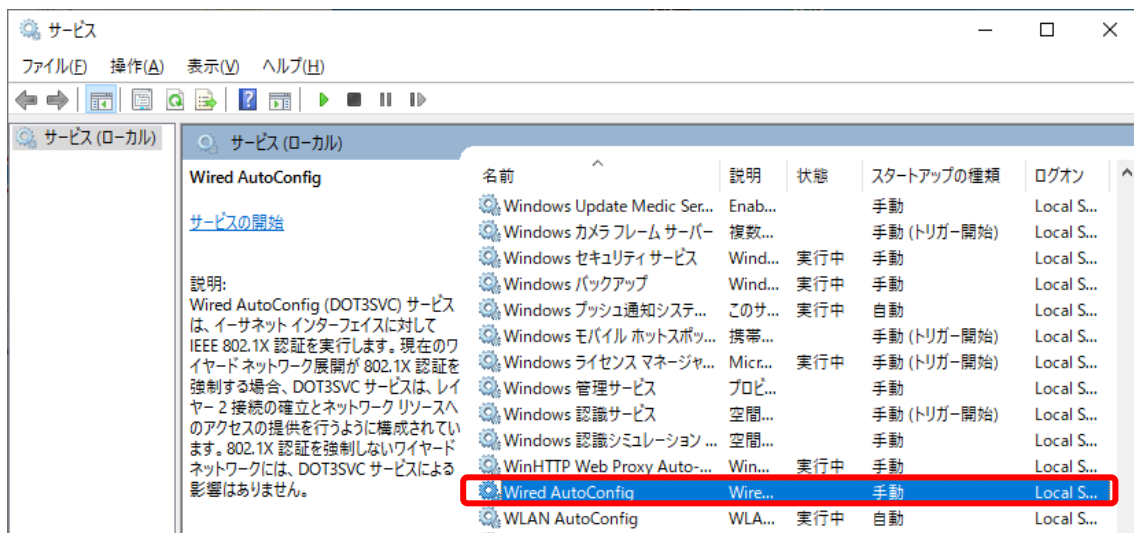
## Windows 編

### 1. 認証サービスの起動

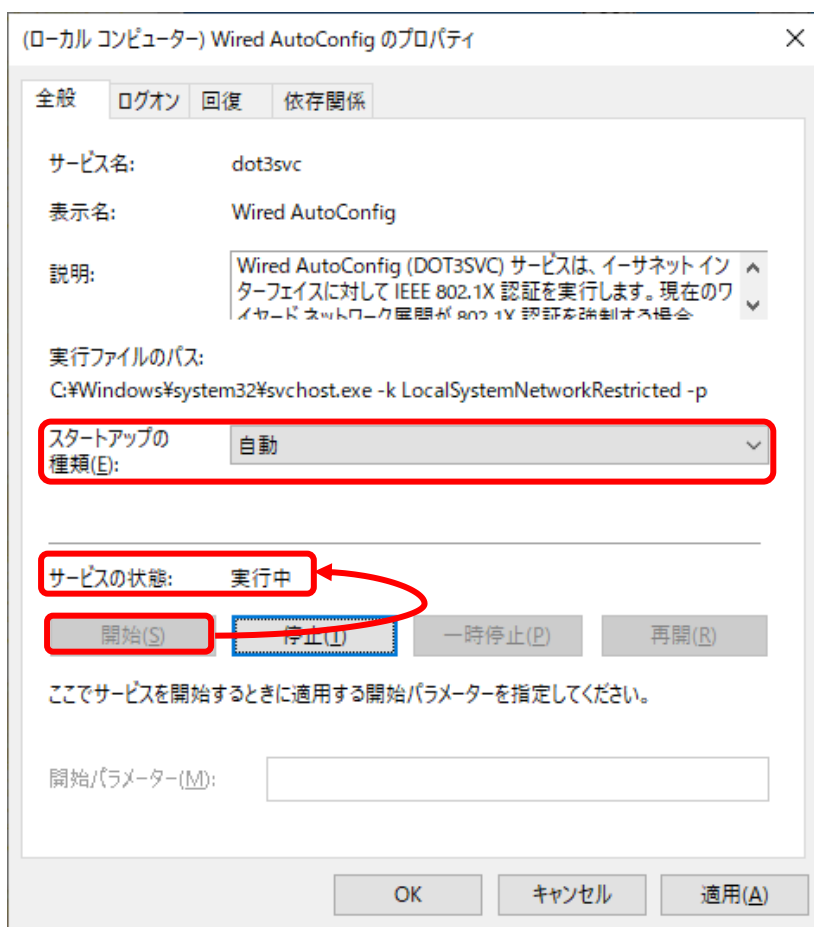
(1) 左下の「Windows」マークをクリックして、「Windows 管理ツール」⇒「サービス」をクリックする。



(2) 「サービス」画面を起動し以下の画面が表示されたら「Wired AutoConfig」をダブルクリックする。

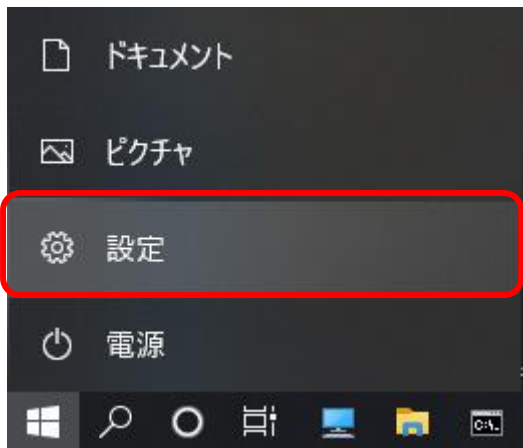


(3) 「Wired AutoConfig のプロパティ」画面で、スタートアップの種類「自動」を選択し「開始」ボタンをクリックし、サービスの状態が「実行中」になっていることを確認し「OK」をクリックする。



## 2. TCP/IP の設定

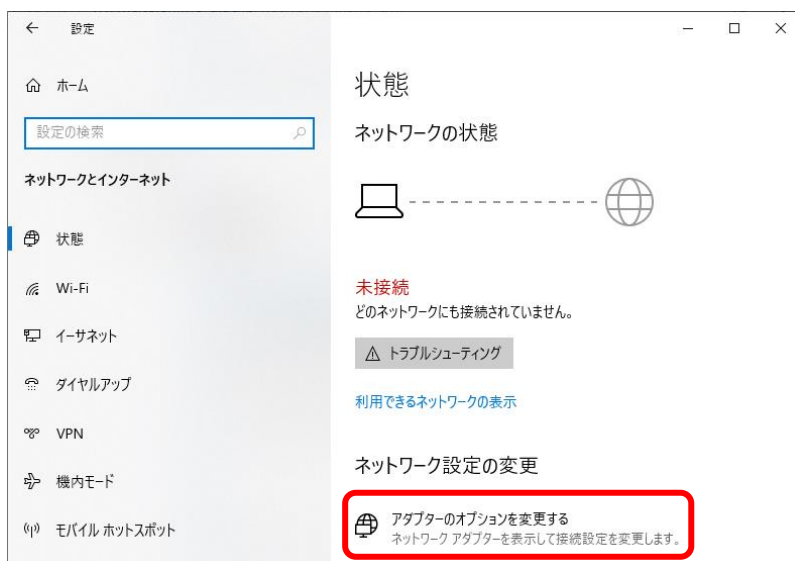
(1) 左下の「Windows」マークをクリックして、「設定」をクリックする。



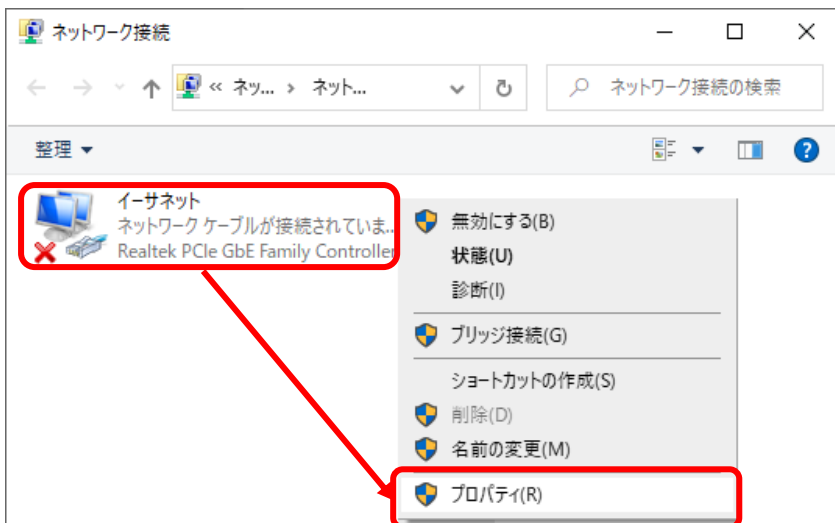
(2) 「Windows の設定」画面で「ネットワークとインターネット」をクリックする。



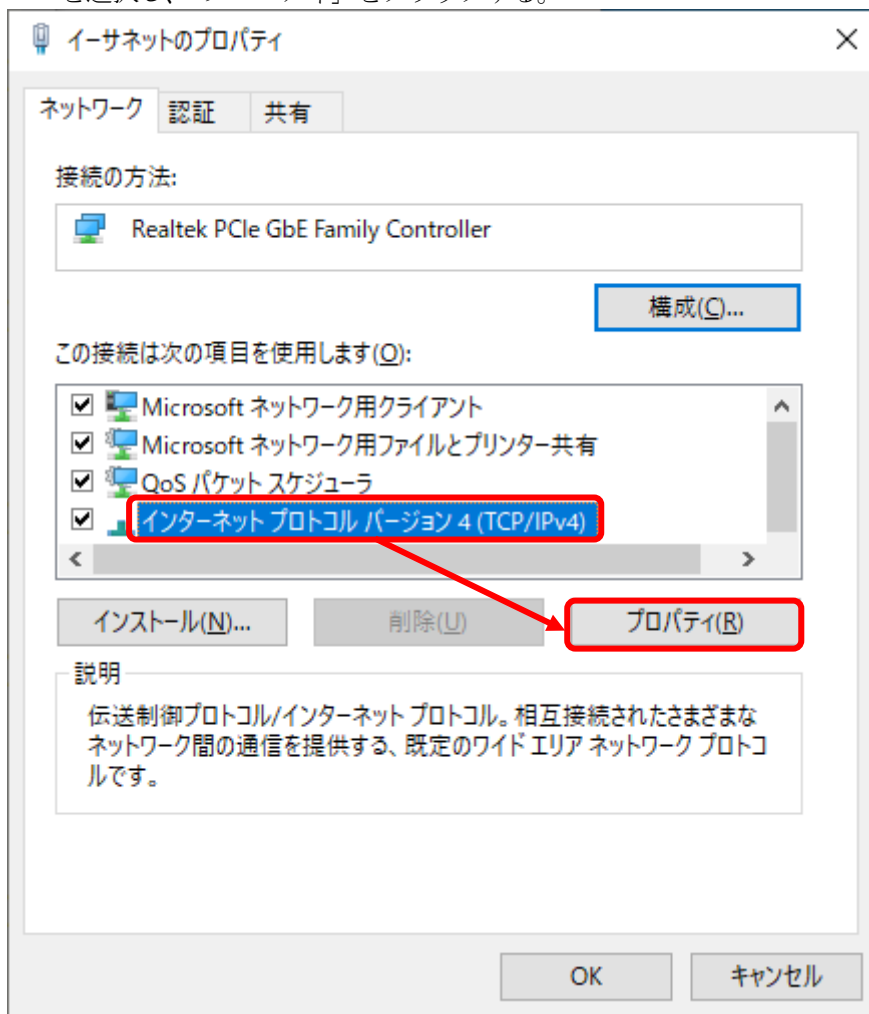
(3) 「状態」画面で「アダプターのオプションを変更する」をクリックする。



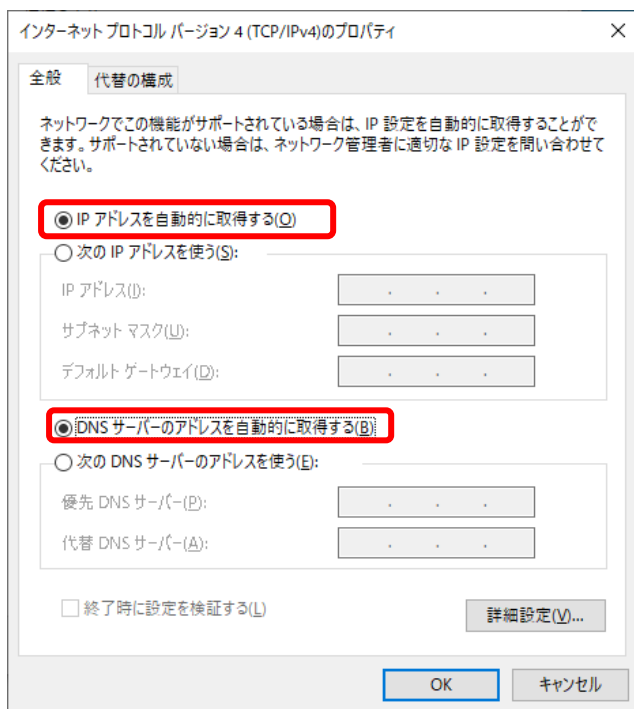
(3) 「ネットワーク接続」画面で「イーサネット」を右クリックし、「プロパティ」をクリックする。



(4) 「イーサネットのプロパティ」画面で「インターネット プロトコル バージョン 4(TCP/IPv4)」を選択し、「プロパティ」をクリックする。

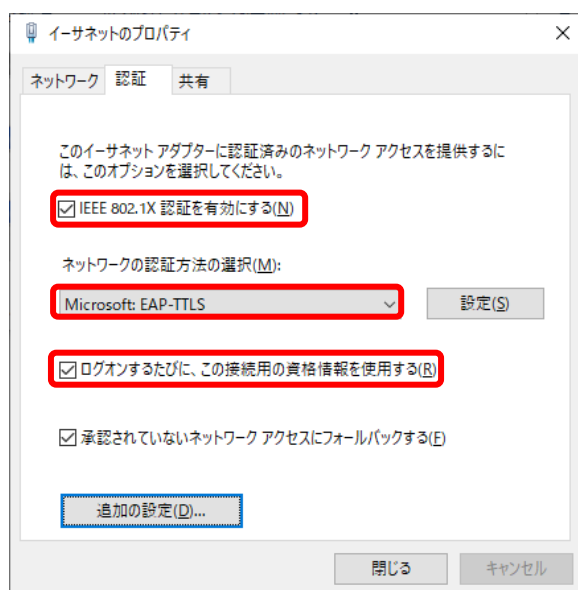


- (5) 「インターネット プロトコル バージョン 4(TCP/IPv4) のプロパティ」画面で次の設定を行い「OK」をクリックする。
- IP アドレスを自動的に取得する
  - DNS サーバのアドレスを自動的に取得する

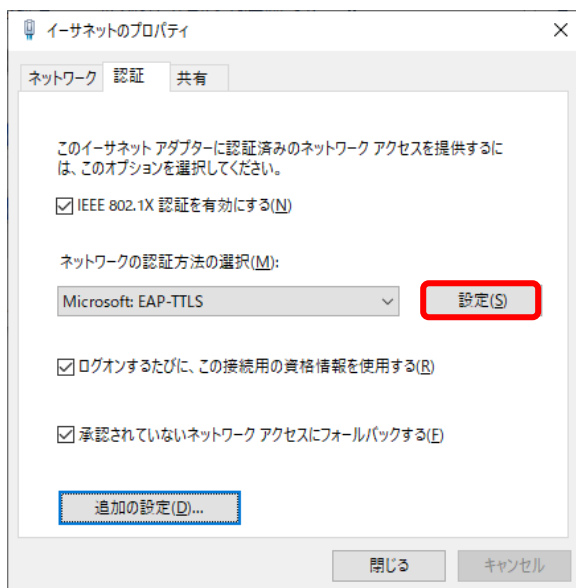


### 3. 認証の設定

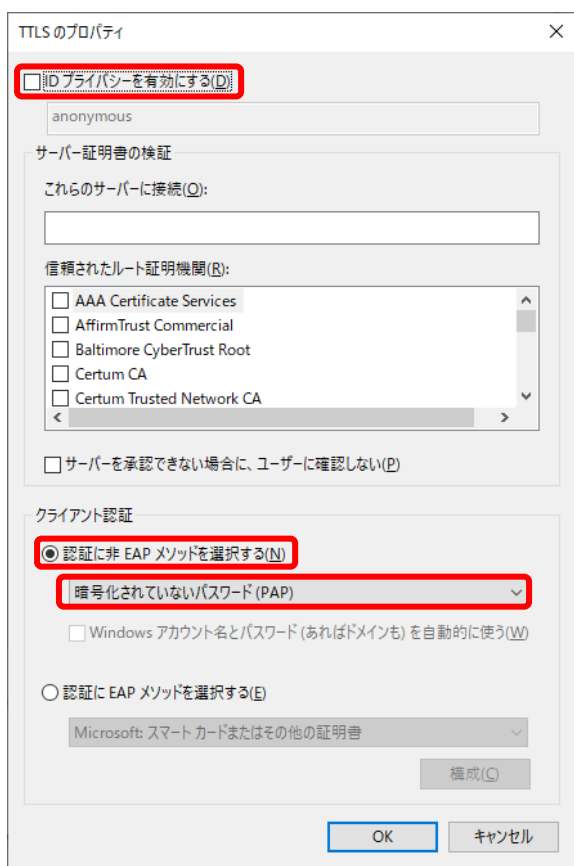
- (1) 「イーサネットのプロパティ」画面で「認証」タブをクリックし、次の設定を行う。
- IEEE 802.1X 認証を有効にする：チェック
  - ログオンするたびに、この接続用の資格情報を使用する：チェック
  - ネットワークの認証方法の選択：Microsoft: EAP-TTLS



(2) 「イーサネットのプロパティ」画面で「Microsoft: EAP-TTLS」の「設定」をクリック。



(2) 「TTLSのプロパティ」画面で「ID プライバシーを有効にする」のチェックを外し、クライアント認証で「認証に非 EAP メソッドを選択する」を選択し、更にリストから「暗号化されていないパスワード (PAP)」を選択する。選択後、「OK」をクリックする。



#### 4. 接続及び認証

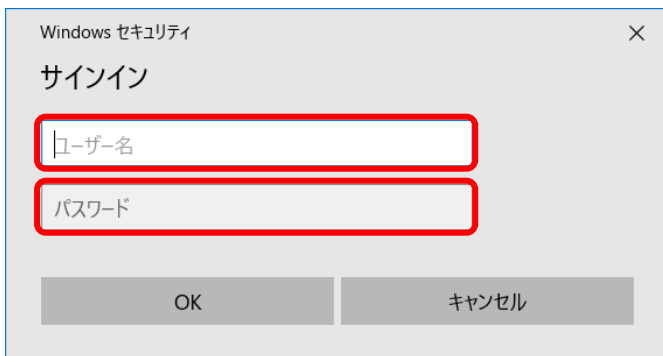
(準備) 他のウィンドウに隠れてしまうことがあるため、開いているウィンドウは最小化するか閉じる。

- (1) 設定完了後、LAN ケーブルを接続すると、デスクトップ上に「Windows セキュリティ」画面が表示されるので、愛媛大学アカウントのユーザー名およびパスワードを入力し「OK」をクリックする。

(例) 愛媛大学アカウント

学生 : a999999a

教職員 : aidai.hanako.mj



- (2) 「サーバーの ID を確認できません」のメッセージが表示される場合は「接続」をクリックする。

